

自動小銃 八
 小銃 一
 拳銃 二
 無線電機 一
 發電機 一
 電話機 一
 捲取機 一
 電線 一
 銃劍 一
 十條 一
 鐵條 一
 輕機槍 一
 眼鏡 一
 青龍刀 一

三二四一一五六一一一一二一一

ラッパ
 機關砲彈
 重機關銃彈
 小銃彈
 手榴彈
 拳銃彈

一六九
 一四四
 一五六
 一四一
 一四一

其他兵器被服多數

四、自七月一日至八月九日河南中部地區警備

(一)自七月十日鄭州附近警備
 大隊鄭州附近警戒配備左如シ
 鄭州市及同周邊

本隊部
 第三中隊
 第五中隊

機關銃中隊
步兵砲中隊
通信小隊

汜水
榮陽
中牟
京水鎮

第一中隊 (一小隊缺)
第一中隊 (一小隊)
第二中隊 (一小隊缺)
第二中隊 (一小隊)

2. 七月三日獨立步兵第十旅團長ノ指揮下ニ在リテ教育中ノ昭和十九年度初年兵鈴木中尉以下一七二名追及ス
3. 師團命令ニ依リ師團直轄隷下各隊初年兵及殘置人員ヲ鄭州到着ト同時ニ獨立步兵第十三大隊長之ヲ併セ指揮シ十八里河附近ニ集結シ引續キ教育ヲ實施ス
4. 中野内兵長以下一〇二名七月九日戰車第三師團ニ轉屬セシム
5. 七月十四日十二時ヲ以テ鄭州附近ノ警備ヲ行基大隊ニ移讓

シ主力ハ勝岡 (鄭州北方一軒) ニ集結シ轉進ヲ準備ス

(一) 七月十五日南西諸島へ轉進準備

八月十五日鄭州出發十八日朝開封ニ到着午後同地ニ在リ

テ南西諸島へ轉進準備ス

2. 石師參編第十五號差記人員ヲ七月十五日附以テ夫ニ獨立

混成第七旅團及第十師團ニ轉屬セシム

左記

1. 獨立混成第七旅團轉屬者

入院患者 陸軍准尉 中村善右衛門

以下 二〇八名

生死不明者 陸軍少尉 戸倉一男

以下 四四名

入監者 陸軍軍兵 田邊藤吉

兵科幹部候補生 伊藤文一

口第百十師團轉屬者

各部下士官候補者

陸軍兵長

加藤八三

經理部幹部候補生

田中勢一郎

以下 五名

3. 七月二十三日補充員一五〇名歩兵第百二十八聯隊引到着不

4. 八月二日二十時ヨリ河南大學校ニ於テ師團創立以來戦歿

將兵ニ對スル慰靈祭ヲ執行セラル

5. 七月二十六日河南大學ニ於テ第十二軍司令官兵團ノ告別式ヲ

舉行セラル

6. 石作命特第一號ニ基キ部隊轉進ニ伴フ編成過剩人員

陸軍獸醫少尉高野悦生以下六二五名ヲ八月七日二十四時

ヲ以テ開封警備隊長ノ指揮ニ入ラシム

7. 轉進ニ伴フ大隊ノ編成左表ノ如シ

獨立歩兵第十三大隊編成表

階級	區分		大隊長	副官	中隊長	中(少)尉	准尉	曹長	軍曹	伍長	養(三)算兵
	本	部									
人員	1	1	1	1	1	4	1	4	4	3	1
馬匹	1	1									
人員					1	3	2	2	10	106	
馬匹											
人員					1	4	2	2	10	90	
馬匹											4
人員					1	2	1	1	6	73	
馬匹											2
人員			1	1	7	25	14	17	74	693	
馬匹			1	1							6

計	兵技下士官	主計尉官	主計下士官	經技下士官	軍醫尉官	衛生下士官	衛生兵	獸醫下士官	計	合計
19	2	2	3	1	2	4	18	1	33	52
2										2
124										124
109										109
4										4
84										84
2										2
822	2	2	3	1	2	4	18	1	33	865
8										8

備一常時作業小隊要員トシテ中少尉一軍曹伍長二兵三三ヲ基準トシ編成置クモ久
 通信小隊要員トシテ中少尉一軍曹伍長二兵三三ヲ基準トシ編成置クモ久
 考ニ大隊長及副官用乘馬ノ狀況ニ依リ鞍馬トシテ本部ニ於テ使用スル下リ

久轉進ニ伴フ大隊將校准士官職員表左表ノ如シ
 獨立歩兵第十三大隊將校准士官職員表 昭元八四

大隊長 大佐 26 原 宗辰	副官 少尉 予 竹下 景三	尉官 大尉 辨 後田 清人	中尉 予 及部 豊	同 同 和 田 安民	同 同 山 口 昌三	同 同 准 尉 現 古 味 義明	同 同 中 尉 予 能 瀬 純三	同 同 中 尉 予 久 保 山 松 記	同 同 中 尉 現 宮 下 重 敏	同 同 醫 尉 予 田 中 寛
尉官 中隊長 八 醫中尉 予 福場 卓司	中尉 予 青木 正暢	中尉 同 田 川 德 雄	中尉 予 吉 田 恒 雄	同 同 池 本 信 熙	同 同 木 村 榮 一	同 同 關 根 元 八	同 同 鈴 木 秀 輝	同 同 吉 村 太 一	同 同 井 原 五 郎	同 同 庄 司 改 造

